第46回 若杉祭のお知らせ

今年の若杉祭は、11月1日[土]−3日[月]に開催いたします。今年は学園祭46回目を迎え、前年度までの学園祭以上に、より一層盛大なイベントや出し物をご用意いたしております。
誰もが来ても楽しめる目玉企画を多数とりそろえておりますので、老若男女問わず、ぜひ足をお運び下さい。また、若杉祭の最大イベントである「秋のからっ風こんさぁと」には、ご家族、ご友人をお誘い合わせの上、ぜひお越し下さい。

同時開催 ホームカミングデー | 2014年11月1日[土]

日本工業大学卒業生求人依頼

工友会では、大学とタイアップし既卒業生に就職情報を提供しています。そのために各地域の就職情報を広く募集しております。日本工業大学の卒業生(新卒・既卒を問わず)を採用したい会社を募集します。
例えば、地元OBを採用したい会社(Uターン採用)はありませんか? 自社や勤務先で就職の情報がありましたら、ぜひご一報ください。

詳細は工友会ホームページの工友会ネットのページにて
http://www.koyukai.com/

日本工業大学吹奏楽団

[第31回記念定期演奏会のお知らせ]
今回の日本工業大学吹奏楽団第31回定期演奏会は「みんなのうた」と題しまして、幅広い年代の方にお楽しみいただける演目を準備し、日本工業大学吹奏楽団の迫力ある演奏をお客様にお贈りいたします。

開催日=平成26年12月7日[日]
開場=13:30 | 開演=14:00 | 会場=春日部市市民文化会館 大ホール
お問い合わせ=TEL: 0480-34-4111[代]
E-mail: nit_wind@hotmail.com

卒業証明書・成績証明書の発行について

卒業証明書・成績証明書は随時発行できます。
卒業後に上記証明書が必要となった場合には、下記AとBのどちらかの方法でお申し込みください。

A ―― 学校まで直接お起こしになる場合
事前にお電話で連絡の上、証明書料金と身分証明書などお名前を確認できるものをお持ちになって、教務課までお越し下さい。

B ―― 郵送をご希望の場合
郵便局の「代金引換郵便」を利用してお送りいたします。本学公式ホームページより「在校生・卒業生の方」を開き「卒業証明書・成績証明書の申込」から、証明書申込用の書式をダウンロードして必要事項をご記入の上、身分証明書などお名前を確認できるもののコピーと一緒に、教務課までFAXをお送り下さい。
代金引換手数料など、詳細については本学公式ホームページをご参照ください。

なお、「電気主任技術者」「無線技士」および(教員免許申請用の)「学力に関する証明書」は、通常の成績証明書とは異なります、これらにつきましては教務課/証明書係まで直接お電話にてお問い合わせください。

[日本工業大学 教務課 証明書係]
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
Tel: 0480-34-4111[代] | Fax: 0480-33-7527[直]

住所が変わったら、ご連絡を!

会報を確実にお届けするために、転居などにより住所が変わった方は、会員情報の更新連絡をお願い致します。連絡方法は、以下の通りです。
1 ―― 工友会ホームページの専用フォーム
2 ―― 会報同梱のハガキ
3 ―― 事務局宛てにメール、または電話

会報も年1回
お届けしていますので
ぜひご覧ください。

一般社団法人 日本工業大学工友会事務局 連絡先
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
日本工業大学内 工友会事務局
Tel: 0480-33-7509 | Fax: 0480-33-7521
E-mail: koyukai@nit.ac.jp
URL: http://www.koyukai.com/
Facebook: http://facebook.com/nit.koyukai

工友会会報

日本工業大学 学位記授与

KOYUKAI Bulletin

Special Feature College Meister

[特集] 工房教育プログラムの紹介

2014 No.42
KOYUKAI Bulletin
00 会長挨拶
01 理事長/学長からのメッセージ
02 工房教育プログラムの紹介
05 活躍する学生たち
06 進化した宮代キャンパス
07 ホームカミングデー
08 援助へのお礼/奨学生
09 総会議事要録
10 地域支部の活動報告
12 維持会費について

一般社団法人 日本工業大学工友会
Nippon Institute of Technology KOYUKAI

一般社団法人日本工業大学工友会[会報] No.42 | 2014年8月1日発行 | 表紙・平成25年度学位記授与式
発行責任者・主井嘉豊(57) | 編集・広報委員会[野口憲治(A38)/福澤光(C46)]、学内編集担当[竹内貞建(M8)/鈴木克朗(A29)/藤田るみ(A32)/古澤建仁(A32)/笹入修(B32)] | デザイン・加谷修三+角田泰央/neucious | 印刷・高速印刷

ごあいさつ

卒業生［会員］の皆様へ

土井嘉豊 | 一般社団法人 日本工業大学工友会 会長

卒業生の皆さん、お元気ですか。
母校、日本工業大学は歴史を重ね毎年進化しています。
あと3年で半世紀の節目を迎えます。
その時には工友会の会員は40,000人を数えるようになります。

しかしながら今現在5,000名ほどの会員の住所が不明となっております。
法人化を契機に、持てる力を使って鋭意情報の収集を行い
会員名簿の管理を行っていきますが、
もし、皆さんの周りで同窓生を知っている等の情報をお持ちの方は、
事務局までお知らせ下さい。

工友会では、会員の皆様に充実した大学を見ていただく為に
大学との共催でホームカミングデーを開催しています。
また、それに合わせて全国支部大会を母校で行っております。
一人でも多くの皆様のご来校をお待ちしています。

本年は、11月1日にホームカミングデー、終了後には、
全国支部大会を予定しています（参加される方は、事前登録が必要です）。
詳細は、本誌やホームページ、フェイスブックで随時告知しますので
是非ご覧ください。

これからも会員の皆様のお役にたてる工友会になるために、
役員、事務局一同頑張りますので
皆さんのご助力をよろしくお願いします。

工友会の最新情報を
随時発信しています。
ホームページ
www.koyukai.com
フェイスブック
www.facebook.com/
nit.koyukai

事務局連絡先
Tel: 0480-33-7509
Fax: 0480-33-7521

組織図

＊［ ］は、法人法の名称を示す。

工友会役員名簿

会長	土井嘉豊	E7
副会長	大島敏正	M2
副会長	横山賢二	A14
理事	土野一清	M1
理事	竹内貞雄	M8
理事	薄井敏光	M8
理事	藤田公雄	M9
理事	官谷友詔	E6
理事	飯塚完司	E14
理事	松崎浩通	E38
理事	中津義智	A5
理事	児玉博文	A5
理事	野口憲治	A28
理事	海老原寛之	C5
監事	佐藤建夫	大学財務部長
監事	一戸孝三	M3
理事	加藤幸一	M3

大学の発展を祝い、仲間とともに成長する喜びを

柳澤章 | 日本工業大学 理事長

工友会の皆様、理事長の柳澤章でございます。昨年7月に就任致しまして、あらためてご挨拶申し上げます。卒業生の皆様におかれましては、日本全国、そして海外でご活躍のこととお慶び申し上げます。私は開学間もない頃から勤務し、工友会立ち上げのときからご一緒してきました。思えば長いお付き合いです。

宮代のキャンパスにおいでになった方は、大学が様々なかたちで進化していることをご覧いただいていることでしょう。20代の頃の私とともに学園生活を送られた方であれば、当初「空っ風祭」と学園祭を命名したごとく砂埃がキャンパスを吹き抜けていたのをご記憶と思います。それが今や見事に緑豊かになりました。研究設備、実験装置、実習施設の充実が年々図られているはもちろんのこと、学園100周年、すなわち大学40周年を記念したLCセンターは、その聳え立つ姿が東武線の車内からもしっかりと見届けられ、ランドマークとなっています。また、環境負荷軽減が必須の課題となる中、エコ大学ランキングで全国第1位となりました。

さて、早いもので3年後には50周年を迎えます。オール日本工業大学で祝い、また、私たちの学びの基本といえる実践を重視した工学を今一度見つめ、深化させ、世に問う機会としたいと考えております。今や人々は例えば空模様を伺うのに、空を見上げるよりも手元のスマートフォンを見るという時流にあり、自らの五感をセンサーに意思決定する意識そのものが後退しているように思われます。実践重視の学びとは、現実に向き合いつつ、仲間と触れ合いながら、五感を豊かにともに成長していくことに他なりません。こうした時代にこそ私たちが引き継いできた学びの存在意義を示し、さらなる発展を遂げていくことを強く願うものであります。よろしくお願い申し上げます。

現役学生への支援に心から感謝しています

波多野純 | 日本工業大学 学長

工友会の皆さん、日頃から本学にさまざまなご支援を賜り、誠にありがとうございます。心からお礼申し上げます。とくに昨年から始めたフレッシュマンキャンプに、今年から資金的なご支援をいただく事になりました。フレッシュマンキャンプは、入学式直後に1泊2日で合宿し、大学に馴染んでもらう行事です。新入生全員が参加し、教員や上級生のサポートのもと、いかに大学生活を豊かにするかを学びます。わかりやすく言えば、友達づくりの手助けです。

工友会の皆さんにこんな説明をすると、「え！大学でそんなことまでしてやるのかよ！」と驚かれる方が多いと思います。でも、SNSに頼る世代は、入学式までにアドレスが交換できなければ、4年間友達ができないとまで言われます。本学では、実験実習に共同で取り組みますから、友人関係が構築できないことはあり得ません。でも、少しでも楽しく充実した学生生活を送って欲しいという願いから、フレッシュマンキャンプを始めました。

その効果はすぐに表れました。1年生の授業前の教室がうるさいのです。従来ですと、4月5月は静かで、その後徐々にうるさくなります。今年は4月から、おしゃべりに夢中です。でも、授業が始まれば静かになりますから、問題はありません。内気な、おとなしい学生が増えている昨今、こんな支援も大学の仕事です。

さて、皆さんがそれぞれの分野で大活躍されているニュースは、私たちを元気づけてくれます。大学最大の資産は、卒業生の活躍です。今夏には、幻冬舎から『ものづくり人生』と言うタイトルの、本学の特集本を発刊します。この本も、卒業生の活躍が大半を占めます。卒業生の誰もが語るのが、入学後すぐに、ものに触れて学べる、本学の「実工学教育」の魅力です。

「君がいてくれてよかった」と感謝される現場のプロジェクトリーダーを目指して、在学生共々がんばってゆきたいと思います。それが、工友会の皆様のご支援に対する感謝の証でもあります。

特集：工房教育プログラムの紹介

12の工房によるカレッジマイスターの養成 ―体験的実工学教育―

平成17年度に、本学が申請した「7つの工房によるカレッジマイスターの養成 ―体験的工学教育―」が、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」に採択されました。これを機に学内には、多くの工房が立ち上がり、平成20年度の補助支援終了時には全学科に工房が設置されました。現在、学内には12の工房があり、それぞれの工房が積極的に活動しています。本誌では、各工房の活動内容を紹介し、本学の新しい教育プログラムをOB&OGの皆さんに広く知って頂きたいと思います。

工房と工房教育プログラムとは

企画から設計・製作・施工にいたるまで、工具や工作機械を駆使して魅力的な課題に取り組み、ものづくりを一貫して体験するために本学が用意した創造の場、それが「工房」です。工房は本学内だけでなく、町の中にも、カナダなどの海外にも設置されています。こうした工房を使った教育プログラムでは、問題解決能力など、総合的な資質を高めることができます。生産現場の未来を担う、リーダーとなる人材を養成する。それが、「工房教育プログラム」です。

カレッジマイスターとは

専門知識と技術を身につけた証である「カレッジマイスター」の称号。エクセレント工房修了し、各工房で定められた科目の単位を取得し、なおかつ、リーダー足るにふさわしい学生に称号とメダルが授与されます。

写真：機械工学科のカレッジマイスターたち

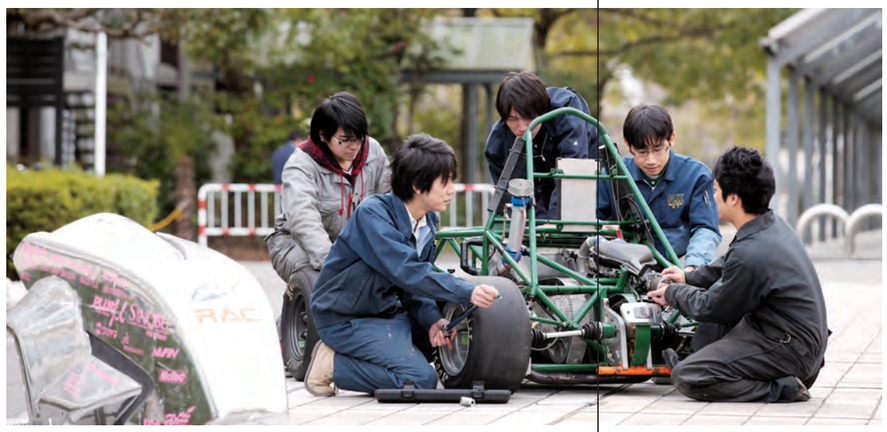
工房教育の流れ

工房を選択 → 目標を設定 → 製作する → 目標達成

◎=**エクセレント工房** 実社会で通用する技術とリーダーシップを育む、夢をかたちにする本格的な工房です。| ◎=**プライマリー工房** ものづくりの基本が学べる工房で、普通科高校出身者も気軽に取り組めます。| ◎=**チャレンジ工房** チャレンジ精神に富んだものづくりの工房です。現在は「鳥人間チャレンジ工房」の一つ。

◎ フォーミュラ工房

エンジン技術を応用し、ミニフォーミュラカーを企画、設計、製作します。製作した車両の性能評価も行います。ものづくりのプロセスを、一貫して経験し、技術者としての総合力を養います。



◎ 鳥人間チャレンジ工房

人力飛行機を学生自ら設計・製作し、毎年開催される「鳥人間コンテスト」の出場を目指します。学生の自主性とチャレンジ精神、チームワークを鍛える工房です。

◎ 2×4木造建築工房

茶室、モバイルキヨスクなど小規模な建築を企画・設計し、学内での実物大の試作を経て、本学カナダ研修所に赴き、現地の大工さんと一緒に、建設作業に取り組みます。実践的な建築現場の技術や知識、さらに仕事で使える英語力が培われます。

インタビュー

土屋俊一 | 機械工学科3年 | フォーミュラ工房

高校生のときにエコラン競技用の車両を製作したことでモノづくりの楽しさを知り、大学でもモノづくりを続けるためにフォーミュラ工房を履修しています。フォーミュラ工房ではほとんどの部品を学生自身の手で設計・製作するので、技術者としての成長を実感できます。工友会からのご支援は、新たな部品を製作するための材料や工具の購入に使用させて頂いております。* 今年も、他大学には見られない高度な自作部品を組み込んだフォーミュラカーを完成させたいと思います。

*工友会では、平成25年度からフォーミュラ工房の学生たちをアルバイトとして雇い、工友会のホームページ更新業務を委託しています。

◎ 機械加工工房

ミニ旋盤を、設計図作成から始め、部品の加工・製作・組立と一連のプロセスにより完成させます。このプログラムによって、設計から生産に至る生産ラインのすべてを学び、実践的な機械加工技術を習得できます。

◎ モノ創りデザイン工房

機能性と性能に基づいたオリジナル製品を、外観の造形を含めてデザインします。機械式時計のテーマでは、歯車から制作することで、道具や加工機に習熟し、使用評価に基づいて機能と意匠を洗練し、モノ創りのセンスを磨きます。

◎ マイクロ・ナノ工房

真空プロセス装置の組み立てや操作体験を通してマイクロ・ナノテクノロジーの基礎技術を学びます。最先端のマイクロ・ナノ加工や評価方法を種々の技術体験を積むことで習得し、独自のマイクロ・ナノ作品の製作に挑戦します。

◎ 物理体感工房

さまざまな実験装置のデモ実験に始まり、自らが面白いと考えるテーマにそって、オリジナルな実験装置を開発、製作します。完成度の高い実験装置を作りながら、科学の楽しさや、深い知識・技術を習得します。

◎ フィジカルコンピューティング工房

動画、音声やCGのためのフリーソフトウェア、光や重力を感知するセンサーを組み合わせ、人の動き、形、声に反応してさまざまに変化する作品を制作します。また、学外のコンテストにも挑戦します。プログラミングの経験と意欲を持つ学生が対象です。

◎ 型技術工房

射出成形品をデザインし、部品図面作成、NCデータ入力、さらに金型を製作し、プラスチック製品を完成させます。設計から製品完成までの一貫した生産ラインを学び、実践的な金型技術を習得できます。

◎ ロボット創造工房

ロボットに触れることから始め、2足歩行ロボットを完成させます。ロボット技術の基礎となる、機構学・センサー工学・電動機制御・画像処理など、機械工学・電気電子工学・情報工学の多くの分野の専門技術を習得します。

◎ マイコン応用回路工房

アナログ電子回路やディジタル電子回路を設計し、電子基板を完成させます。さらにアナログとディジタル混在の回路の設計・製作に挑戦することで、電子設計システムを活用した設計方法や動作検証技術を習得します。

◎ ものづくり入門工房

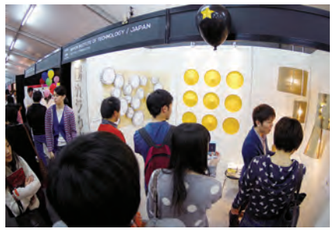
はじめに自転車の分解・組立、簡易モータや簡単な木工製品の製作を通して、工具の使い方や仕組みを学びます。次にいろいろな工作機械の安全な使い方を学び、自分で企画・設計した製品を作ります。他学科の学生と親しく交流できるのも魅力です。

活躍する学生たち

デザインや技術のコンペティションで、学生たちの作品が続々と受賞しています。
確かな技術と、センスあふれるアイデアは、高く評価されています。

東京デザイナーズウィーク2013
ASIA AWARDS 学校作品展
- **個人賞**

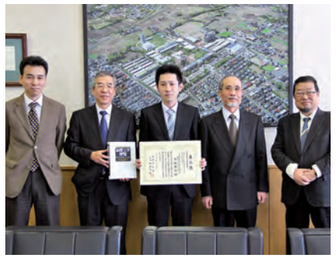
「Quadric surface」
中村直弘さん／小武海瑛嗣さん／田村友明さん［機械工学科4年］



技能検定の合格及び優秀賞表彰
込山醇貴さん／山田祥久さん／石塚寛也さん［機械工学科4年］

品質工学会
- **品質工学会学生賞**

「品質工学による硬化肉盛溶接材料の仕上げ加工の最適化」
深谷健介さん［大学院博士前期課程機械工学専攻2年］



日本非破壊検査協会
- **新進賞**

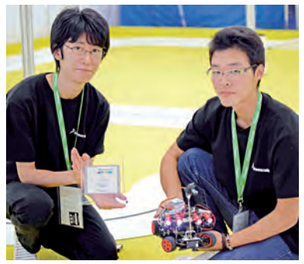
「紫外線硬化樹脂の硬化過程における流動と応力の同時測定装置の構築」
岡野聖さん
［大学院博士前期課程機械工学専攻2年］

日本機械学会
- **畠山賞**

木村大樹さん［ものづくり環境学科4年］

フリースケール・セミコンダクタ・ジャパン(株)
第2回フリースケールカップ日本大会
- **準優勝**

河添雅義さん／野本知さん
［創造システム工学科3年］



2013年度電子情報通信学会
- **学術奨励賞**

「ネットワーク構造を持つPSOによる非線形BSS」
栗原拓哉さん［大学院博士後期課程電気工学専攻1年］

第1回みやしろ写真・動画コンテスト
- **優秀賞**

海老澤怜己さん［情報工学科3年］

電気学会
平成25年 電子・情報・システム部門大会
- **優秀ポスター賞**

「遺伝的アルゴリズムを用いた幅広2値符号の探索」
星野翔太さん
［大学院博士前期課程電子情報メディア工学専攻1年］

東京建築士会 住宅課題賞2013
- **植田賞**

「ゆるゆる」
伊藤万里さん［建築学科2年］

東京建築士会 住宅課題賞2013
- **入選**

「Wall Share Life～ボルダリング～」
中川哲さん［生活環境デザイン学科2年］

JACS 全日本学生建築コンソーシアム主催
2013年住宅設計コンペ
- **優秀賞**

湯浅和也さん［大学院博士前期課程建築デザイン学専攻1年］＋橋本温子さん［生活環境デザイン学科4年］

進化した宮代キャンパス

本大学は、総敷地面積25万m²、東京ドームの5倍の広さです。緑にあふれ、四季折々の季節感を映しだすキャンパスには、最新鋭の設備や装置を備えた教育研究施設が建ち並びました。

1 | 体育館

耐震補強およびトレーニング棟・健康管理センターの増床工事を行い2013年8月6日に完工しました。

2 | W2［H25年4月竣工］

生活環境デザイン学科実験研究棟
Living environment design laboratory

3 | 18号館［H23年3月竣工］

創造システム工学科実験研究棟
Innovative System Eng.Labs

電気電子工学科実験研究棟
Electrical&Electronics Eng.Labs

4 | LCセンター［H19年9月竣工］

Library and Communication Center

第14回ホームカミングデー開催報告――再会を約束して

昨年11月2日［土］に第14回ホームカミングデーが開催されました。この日は、若杉祭の開催初日でもあり、クラブやサークル、研究室のOB会が開かれ、これら参加者も合流して盛大な催しとなりました。参加者数は570名と昨年をやや下回ったものの、会場（大食堂）は超満員となりました。内訳は、卒業生:451名、旧教職員15名、現教職員94名、工友会奨学金受給学生:10名でした。過去に参加したOBが仲間を誘って参加するようになり、学園祭中の恒例行事の一部として完全に定着しました。毎年ホームカミングデーに家族で参加するリピータも増えており、1年に一度、卒業生が母校を訪れる絶好の機会となっています。

受付は12:00から大食堂で開始され、名札、クーポン券（600円分）、パーティ抽選券、記念品、および大学の各種資料が参加者に渡されました。クーポン券は、若杉祭に出店しているクラブ、研究室、およびサークル等の模擬店で使用でき、軽い食事をとって頂くと同時に、学生と交流して若杉祭を楽しんで頂きました。

恒例により希望者には、学内見学会が、建築系、機械・システム系、および電気電子・情報系の3コースに分かれて開催されました。学内の工業技術博物館やリニューアルした体育館など各設備を見学して説明を受けました。卒業後数十年間、一度も大学を訪れたことがないOBにとっては、大学の変貌は驚きの連続のようでした。

若杉祭の模擬店巡りや学内見学会に続いて、メインイベントである懇親パーティが開かれました。柳澤理事長、土井会長、そして波多野学長の挨拶のあと、参加者全員での記念写真撮影が行われました。ファインダーにはいりきれないほどの大人数が一斉に集まり、撮影自体が大イベントとなりました。このあとの乾杯でパーティがはじまりました。再会した恩師や旧友との学生時代の思い出を語り合う姿があちこちで見られました。お子さんは、早くも抽選会を待ちきれない様子でした。

工友会支部からは、地域の名産品の販売が行われました。これを楽しみにしている参加者も多いようで、人気の品はあっという間に完売しました。また、抽選会では景品の抽選のたびに歓声と落胆のため息が聞かれました。時間はあっという間に過ぎ、最後は、恒例となった卒業生、恩師、教職員、そして学生が肩を組んでの校歌斉唱が行われました。あちこちで「来年もまた会おう!」との声が聞かれ再会を約束してホームカミングデーの幕が閉じました。

次回

第15回 ホームカミングデーのお知らせ

2014年11月1日［土］｜11:30-16:00

今年もホームカミングデーを開催します。同期の友人を誘って、また、ご家族連れで、多くの皆様に母校にお集まり頂きたいと願っております。参加は無料です。当日は若杉祭（大学祭）を開催しています。開催の詳細は大学ホームページ、または工友会ホームページで随時行ってまいります。

ホームカミングデー実行委員会
（大学・工友会共催）

援助へのお礼／奨学生

工友会援助へのお礼

建築デザイン学群学生有志による「東京デザイナーズウィーク2013学生展」への参加援助

今回、「東京デザイナーズウィーク2013学生展」(2013年10月26日から11月4日｜会場:明治神宮外苑)へ参加しました。昨年、一昨年と続いての参加で3年目となります。継続して参加する学生を中心に、多くの新しいメンバーが加わり、学年の垣根をこえた大人数の協同によって作品を製作しました。私達は、5m×3m×2.5mの大きな円錐が傾いている形をした作品を制作しました。傾いていることによって形を保つことが難しく、安全面を考慮する上で、木材の工法や様々な工具の使い方を学び、力の逃がし方やスペーサーの入れ方などを工夫しました。残念ながら賞を頂くことはできませんでしたが、たくさんの方からお褒めの言葉を頂き、また、普段の学生生活では得られない経験を積むことができました。作品に対する細かな配慮、仲間との協同の素晴らしさを学び、他大学との交流、海外や日本の若手アーティストの感性に直接触れるなど、多方面からの刺激を受けることができました。作品輸送費、交通費を援助して頂きありがとうございました。 ――――――中山瞭[建築学科4年]

工友会援助・寄贈一覧

H25	
04/03	準会員入学記念品贈呈
08/01	うちわ、手ぬぐい贈呈
08/28	体操競技部、第67回全日本学生体操競技選手権大会交通費援助
09/05	工友会奨学金給付[10名]
09/15	準会員入会記念品贈呈
10/25	東京デザイナーズウィーク2013学生援助
11/02	第13回ホームカミングデー
11/02	喫茶後友会の運営
11/02	大学祭援助
11/02	ホームカミングデー支部特薦品販売への援助
H26	
01/20	卒業アルバム購入援助
03/10	卒業生子女への入学検定料の援助
03/07	工友会奨学金給付[10名]
03/20	会員入会記念品贈呈

平成25年度日本工業大学工友会奨学生からのお礼

浅永晃[機械工学科4年]

工友会からの奨学金を頂き誠に有難うございます。勉強に部活動そしてチャレンジ工房での活動に全力で打ち込めたのは、皆様のご支援によるものであると深く身に染みております。工友会の皆様と、支給事務に携わって下さった全ての方々に、心から御礼を申し上げます。卒業後も皆様への感謝は決して忘れません。そして日本工業大学で学べたことを誇りに思い、工友会の一員として優れたエンジニアを目指し努力していきたいと思っています。

久保塚香織[ものづくり環境学科4年]

この度は、工友会奨学金をご支援いただき、誠にありがとうございます。お陰をもちまして、大学生活でしかできない貴重な経験をさせていただきました。なかでも、海外で語学に触れた経験は、今後の大学生活で大きな糧となると思います。残り少ない大学生活の中で、卒業研究と共に自分自身を高められるよう努力をしていきます。卒業後は、自分の目標に向かって努力をし、後輩たちのサポートをしていきたいと考えております。

平成26年度 日本工業大学工友会 奨学生名簿

学科	学年	氏名
MS	修士2年	田口直樹
M	4年	亀山元気
M	4年	遠又諒
E	4年	田中寛己
S	4年	清水拓磨
E	3年	兼島翔
M	2年	劉森森
M	2年	中川祥希
M	2年	吉田歩
E	2年	大戸雄一朗

MS:機械システム工学専攻
M:機械工学科
E:電気電子工学科
S:創造システム工学科

平成26年度総会議事要録 [日時:平成26年6月7日[土]｜13時－15時]

出席者

- 総数=135名
- 有効総数=116名
  [出席者:56名/委任状60名]
- 成立人数=27名[総数の1/5以上]

総会細則第2条の2により、
総会は成立した。

議長団

- 議長=土井嘉豊[E7]
- 書記=山田覚[E31]、野口重男[M1]
- 議事録署名人=土井嘉豊[E7]、倉島清隆[大学]、一戸孝三[M3]、官谷友詔[E6]

第1号議案

定款の規定に基づく選任理事、
監事の承認に関する件
賛成多数をもって、原案の通り承認された。

第2号議案

平成25年度事業報告並びに
収支報告に関する件
賛成多数をもって、原案の通り承認された。

第3号議案

平成26年度事業計画並びに
収支予算に関する件
賛成多数をもって、原案の通り承認された。

第4号議案

定款の変更に関する件
賛成多数をもって、原案の通り承認された。

平成25年度会計報告、平成26年度収支予算は別紙またはホームページでご覧下さい。

平成26年度事業計画

総務委員会

活動目標/重点活動

- 高齢化を踏まえ「支部活性化と永続性」に向けた活動を展開。
- 支部活動状況の情報共有と支部間の水平展開により活性化する。
- 現役学生との交流の場を設け、信頼関係を構築する。

財務委員会

活動目標/重点活動

- 一般社団法人日本工業大学工友会の財務に関して円滑な対応を行う。
- 法人としての財務管理を税理士・監事と共に行う。
- 損益ベースの収支予算報告書に対応する。
- 長期展望に基づいた、収入・支出の見直し。

広報委員会

活動目標/重点活動

- 工友会会報の発行｜
- 工友会ホームページの更新

事業委員会

活動目標/重点活動

- 新入生を対象としたフレッシュマンキャンプへの資金援助
- 夏祭りへのうちわ、手ぬぐいの贈呈｜
- 大学祭への援助｜
- 卒業アルバムへの援助
- 学位記授与式当日の祝賀会への樽酒贈呈｜
- ホームカミング・デーの開催
- 学生クラブ活動への援助

情報システム委員会

活動目標/重点活動

- 各種会費・寄付金納入方法の検討
- ITシステムを利用した工友会活動の活性化及び経費削減
- 工友会名簿管理システム更改｜
- 工友会フェイスブックの更新

地域支部の活動報告

山形県支部

バスツアーによるホームカミングデー参加

バスツアーによるホームカミングデーの参加は、山形県支部設立15周年にふさわしい活動でした。参加者からは、「30年ぶりに母校に来た」「すばらしいキャンパスだ!」等の声が聞かれました。また、なつかしい先生方にもお会いできました。今回のツアーによって、今後の活動につながる結束を確認できました。―― 山形県支部長 鎌上敏美[A8]

支部ホームページを観て下さい。
tochigi.koyukai.com

栃木県支部

近年の活動報告

栃木県支部は、支部第1号として発足して7月で32周年になります。色々な企画を発案して、近県の福島県支部、群馬県支部と相互交流して工友会及び支部の発展に頑張っています。埼玉県支部、千葉県支部とは各行事に参加又は参加頂き交流を進めています。後援会栃木県支部様とは、交流を密にして新入学生や現役学生に「講演や万相談」などでアドバイスを実施し、工友会の紹介と将来の会員として活動に参画するよう要請しています。―― 栃木県支部長 田中晃[E5]

写真:暑気払い
(四県合同企画で昨年8月3日に実施)

千葉県支部 ＋後援会合同企画

恒例「すだてあそび」

6月29日[日]千葉県支部恒例の「すだて」を開催しました。朝から天候が心配されましたが、帰りにはすっかり晴れて暑いくらいでした。今年は、参加者がやや少なかったのですが、魚は豊漁で栃木県や後援会の参加もあり、賑やかに過ごすことができました。来年も潮見表を見ながら企画いたします。是非一度は参加してみてください。―― 藤井敏雄[E3]

大阪支部

神戸ハーブ園での散策

平成17年10月に、近畿支部から大阪支部に独立して早くも10年を迎えます。近年、母校への進学者が少なく、会員は50−60歳代が中心です。会員相互の親睦を深めるため、兵庫支部とともに活動しています。昨年の総会では、神戸ハーブ園での散策も行いました。―― 小山将史[A14]

静岡県支部・愛知県支部

30周年合同記念式典無事開催のご報告

前略　工友会会員の皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。日頃の工友会の活動に関しましては会員の皆様のご支援を頂き大変ありがたく思っております。又、昨年は静岡県・愛知県の合同30周年記念式典に際しましては、土井会長・大島、横山両副会長を始め多数の会員の皆様や後援会の皆様にご出席を賜り、総勢40名程で盛大で有意義な式典を行うことが出来ました。特に大学側より、柳澤理事長・波多野学長のお二人の先生にご多忙の中でのご出席を賜りました。心より感謝申し上げます。この式典は静岡県掛川市のグランドホテルにて、平成25年10月5・6日の二日間に亘り開催させて頂きました。初日の夕刻よりの記念式典では、柳澤理事長・波多野学長のご挨拶を頂き、又、土井後援会会長・真野静岡県後援会支部長のご挨拶等沢山のご祝辞を頂きました。式典の後は同ホテルでの懇親会、そして二次会へと楽しいひとときを過ごさせて頂きました。そして翌日は天気も良く、人数は20名程に減りましたが(柳澤理事長には二日目の行事にもご参加を頂きました)、掛川城の見学、浜岡原子力発電所の見学、御前崎なぶら館での昼食・お土産の購入、そして最後に、国の重要文化財大鐘家見学の4箇所の地元でも有名な場所を訪れ、有意義な見学会バスツアーを開催することが出来ました。そして最後は、JR掛川駅で滞りなく無事解散となりました。見学ツアーご出席の皆様には大変お疲れ様でございました。以上簡単ではございますが、静岡・愛知30周年合同式典のご報告をさせて頂きました。式典が済んで反省する点も多々ありましたが、久しぶりに顔を合わせた旧友や同期の仲間、理事長、学長、会長との楽しい歓談等、工友会活動に携わっていて本当に良かったと思っております。これからも微力ながらも、日工大の工友会活動に参加させて頂きたいと思っております。最後になりましたが、合同式典を開催するに当たり工友会の土井会長を始め多くの皆様の御指導・御支援を賜りました。心より御礼申し上げます。末筆ながら失礼いたします。ご出席の皆様本当にありがとうございました。　草々　―― 工友会静岡県支部 大鐘克志[A9]

全国支部大会の報告

平成25年度全国支部大会が2013年11月2日[土]日本工業大学学友会館で開催されました。全国支部より35名と本部の11名、合計46名の方々に参加して頂き、多数の意見、活発な議論が行われました。今後も、各支部の企画で、更なる支部の活性化につながればと期待しています。

工友会地域支部一覧

支部名[設立年]	支部長[卒期]	総会日程
青森県支部[H6年2月]	岩山政則[E3]	2014/11 中旬
秋田県支部[H10年8月]	佐藤信勝[A12]	開催日未定
岩手県支部[S58年8月]	久保田懐[E12]	開催日未定
山形県支部[H10年8月]	鎌上敏美[A8]	2014/11/8[土]
福島県支部[H17年9月]	真舩正広[E16]	2015/3/21[土]
栃木県支部[S57年7月]	田中晃[E5]	2014/8/23[土]
群馬県支部[H23年10月]	桑原金一[E12]	2014/9/20[土]
埼玉県支部[H17年3月]	薄井敏光[M8]	2014/3/14[日]
千葉県支部[S58年7月]	藤井敏雄[E3]	2014/6/14[土]
神奈川県支部[S58年2月]	小幡秀造[A9]	2015/2/14[土]
長野県支部[H17年6月]	清水高市[A9]	2014/8/30[土]
静岡県支部[S58年7月]	安達一浩[M18]	2014/5/31[土]
愛知県支部[S58年10月]	斎藤正弘[A4]	2014/5/24[土]
大阪府支部[H17年10月]	小山将史[A14]	2014/10/18[土]−19[日]
兵庫県支部[H17年10月]	中津義智[A5]	2014/10/18[土]−19[日]
広島県支部[H2年11月]	増谷淳[M5]	8月または9月に開催予定
岡山県支部[H19年2月]	齋藤誠	2014/10/18[土]−19[日]
山口県支部[H2年11月]	山本妙生[A11]	2014/10/18[土]−19[日]
香川県支部[H13年4月]	川田卓宏[S10]	2014/7/26[土]
徳島県支部[H13年4月]	佐川正師[A27]	2014/7/26[土]
愛媛県支部[H13年4月]	窪田博年[A24]	2014/7/12[土]
高知県支部[H13年4月]	池内忠[M14]	2014/7/12[土]
山陰支部[H22年2月]	小松義昌[A4]	2014/9/20[土]
沖縄県支部[H1年6月]	川満秀吉[E10]	開催日未定
バンコク支部[S59年1月]	ANAN PACHARATAN[M1]	開催日未定

工友会学科支部一覧

支部名	支部長[卒期]	総会日程	開催場所
機械工学科支部	渡邊正道[M1]	2014/9/13[土]	機械実工学教育センター講義室 13:30-
電気電子工学科支部	森正美[E1]	2014/11/1[土]	9号館1階103号室電気電子工学科会議室 12:00-13:00
建築学科支部	中村國雄[A7]	2014/11/1[土]	建築デザイン学群棟1F 101 会議室 11:00-12:00
システム工学科支部	小松保彦[S6]	2014/11/1[土]	学友会館2F和室/午前中
情報工学科支部	高瀬浩史[E21]	2014/11/1[土]	情報工学科棟マルチメディア教室 13:00-14:00

次回

今年の全国支部大会は日本工業大学で開催

平成26年11月1日[土]
日本工業大学学生ホール(大食堂)

平成26年6月7日[土]学友会館ホールにて、工友会総会が開催されました。総会において、本年秋開催の「全国支部大会」の詳細について発表されました。今年度は、学生時代を思い出してもらい、一泊二日で大学構内に宿泊し、他府県の支部の皆さんと一夜語り明かしましょう。貸し布団も用意しております。体育会系の学生気分で、若い時代を思い出してみてください。お待ちしております。

維持会費納入者［平成25年度｜485名｜敬称略］

磯野精博[M1]
沖山仁[M1]
君島邦夫[M1]
君島純一[M1]
佐々木文昭[M1]
白瀬俊則[M1]
高花均[M1]
西田芳則[M1]
野口重男[M1]
渡邊正道[M1]
小野寺讓[E1]
鈴木正幸[E1]
丸山康夫[E1]
沢田博[A1]
内田勇治[M2]
大島敏正[M2]
赤間松三[M2]
田中善実[M2]
平澤修[M2]
本庄謙次[M2]
山田慎一[M2]
河野良明[E2]
佐川順治[E2]
真下久男[E2]
太田昇[A2]
金子紀[A2]
佐藤順一[A2]
武田鋭彦[A2]
前田幸夫[A2]
松本建夫[A2]
宮崎清五[A2]
千澤薫[A2]
一戸孝三[M3]
岡田茂[M3]
折原道雄[M3]
加藤幸一[M3]
勝間実[E3]
高橋恭一[E3]
藤井敏雄[E3]
坂部幸利[A3]
佐田正博[A3]
中村昭則[A3]
田中和子[A3]
森芳男[A3]
大和正幸[A3]
安楽龍二[M4]
石川達男[M4]
今村俊夫[M4]
臼井昌章[M4]
北沢仁一[M4]
久米本謙一[M4]
斎藤和雄[M4]
佐々木茂幸[M4]
佐藤利幸[M4]
佐藤康治[M4]
妙中寛治[M4]
早坂進[M4]
福田弘[M4]
真金秀雄[M4]
山内二彦[M4]
渡辺治雄[M4]
石井道夫[E4]
川崎秀夫[E4]
佐藤光日古[E4]
中出昭一[E4]
矢澤啓司[E4]
吉橋慶一[E4]
小名木敏夫[A4]
柏屋秀幸[A4]
小松義昌[A4]
斉藤正弘[A4]
高山武三[A4]
松岡司志[A4]
松原孝典[A4]
大島一見[M5]
小田倉明裕[M5]
鎌田隆一[M5]
草薙裕明[M5]
小西法行[M5]
佐藤勝二[M5]
高橋秀志[M5]
深井英明[M5]
増谷淳[M5]
阿蘇義弘[E5]
郷司剛奉[E5]
土屋善行[E5]
中村康則[E5]
深谷進[E5]
邊見喜洋[E5]
宮沢敏夫[E5]
横山行男[E5]
安藤智之[A5]
植松清志[A5]
児玉博文[A5]
児玉廉太郎[A5]
小波津勇[A5]
瀬古邦美[A5]
谷口武士[A5]
中津義智[A5]
萩原修[A5]
新井衛[M6]
池田幸夫[M6]
磯野優[M6]
伊藤弘志[M6]
栗和田洋敏[M6]
小林泰生[M6]
佐藤俊幸[M6]
杉本英明[M6]
平岩朝美[M6]
森川忠[M6]
山田輿志三[M6]
官谷友詔[E6]
河野昌雄[E6]
小峪修一[E6]
清水繁樹[E6]
早川時光[E6]
平沼栄[E6]
赤尾光治[A6]
刑部伸一[A6]
長内秀明[A6]
今信次[A6]
今寿幸[A6]
佐藤修弘[A6]
土井秀子[A6]
鷹羽金司[A6]
東海林勲[A6]
永井孝行[A6]
松崎益一[A6]
山本豊[A6]
池端憲之[M7]
坂本悦男[M7]
松浦良彦[M7]
村上康裕[M7]
篠崎清栄[E7]
河原譲[E7]
島田賢一[E7]
白倉充久[E7]
土井嘉豊[E7]
遠山隆太郎[E7]
永田清孝[E7]
長田久[E7]
福泉佐[E7]
井上俊二[A7]
岩崎猛[A7]
江東育士[A7]
大野雅己[A7]
庚塚啓祐[A7]
丹羽純子[A7]
長島佳久[A7]
中村国雄[A7]
藤井正王[A7]
藤崎常男[A7]
星野隆一[A7]
上野幸蔵[M8]
阿部哲哉[M8]
薄井敏光 [M8]
加藤秀次[M8]
竹内貞雄[M8]
竹田修二[M8]
奈良場淳一[M8]
秋谷充彦[M8]
飯田育男[E8]
野田博俊[E8]
宮前俊彦[E8]
入野昌明[A8]
岩瀬宏隆[A8]
上原光弘[A8]
岡村和昭[A8]
鎌上敏美[A8]
葛原英司[A8]
黒津高行[A8]
小林隆夫[A8]
品川典久[A8]
辻四朗[A8]
筑野正明[A8]
藤田光彦[A8]
伊賀知由[M9]
藤田公雄[M9]
海野一久[M9]
金田好弘[M9]
佐藤住夫[M9]
清水荘雄[M9]
高草木英夫[M9]
長島宏[M9]
西坂秀作[M9]
丸山昭仁[M9]
夏見忠[E9]
吉本憲弘[E9]
石井敏[A9]
大鐘克志[A9]
栗原秀一[A9]
清水高市[A9]
斉藤勝弘[S1]
芝木正太郎[S1]
上浦隆[M10]
古谷野悦夫[M10]
大川行広[M10]
古野秀喜[M10]
村上徹[M10]
加藤保[E10]
武井裕一[E10]
廣井勝[E10]
加賀政雄[A10]
桑原耕[A10]
田中伸幸[A10]
比護孝[A10]
吉岡誠[A10]
臼倉弘[S2]
野口仁史[S2]
井口秀行[M11]
鈴木一夫[E11]
星野一徳[E11]
三杉修一[E11]
安田正人[E11]
吉田清[E11]
小野寺真[A11]
佐々木純一[A11]
本田伸也[A11]
宮下正美[A11]
村松敏多[A11]
柳橋彰彦[A11]
山本妙生[A11]
藤巻俊治[S3]
宮腰尚良[S3]
伊藤道郎[M12]
稲山直人[M12]
万殿善美[M12]
緑川勇[M12]
岡村哲男[E12]
桑原金一[E12]
飯島晃[E12]
山本柳市[E12]
上原寛明[A12]
亀山和由[A12]
佐藤信勝[A12]
下山明[A12]
田中敏和[A12]
珍田伸一[A12]
徳永雄一郎[A12]
平野浩正[A12]
尾関博司[S4]
小林裕行[M13]
島村匡伸[M13]
福田高明[M13]
村井和之[M13]
淺田和弘[E13]
阿部等[E13]
田口睦広[E13]
百瀬和行[E13]
木島文彦[A13]
小林功典[A13]
野田明裕[A13]
旗谷寿逸[A13]
高山茂樹[S5]
野田一男[S5]
堀田主税[S5]
吉沢健二[S5]
赤井茂樹[M14]
池内忠[M14]
稲福政彦[M14]
小山昇[M14]
増子和弘[M14]
飯塚完司[E14]
蒲生良隆[A14]
川瀬新吾[A14]
小島聡[A14]
小山将史[A14]
下村紀之[A14]
中野澄雄[A14]
横山賢二[A14]
鹿島田裕之[S6]
小松保彦[S6]
斉藤隆志[S6]
生野武夫[M15]
石田武久[M15]
井田秀和[M15]
佐藤紘三[M15]
谷川直哉[M15]
山口弘一[M15]
秋山一弘[E15]
植木豊[E15]
岡本守[E15]
成田浩士[E15]
柳沢章夫[E15]
矢野雅也[E15]
横山健次[E15]
大越啓全[A15]
唐沢祐治[A15]
沢畑一成[A15]
菅沢守[A15]
鈴木昭司[A15]
千葉朋穂[A15]
原田亨[A15]
平井秀昌[A15]
藤田泰[A15]
山田治彦[A15]
大谷政行[M16]
小ノ澤辰範[M16]
児玉朗[M16]
飯塚智久[E16]
塩田伸一[E16]
関根優[E16]
武木久人[E16]
真舩正広[E16]
水野徹也[E16]
石津伸一[A16]
伊藤和則[A16]
外舘弘喜[A16]
濱川一彦[S8]
小川武[M17]
小野正明[M17]
北村秀志[M17]
倉家寿継[M17]
小出真一[M17]
田中良東[M17]
池田康敬[E17]
飯野弘明[A17]
須藤稔[A17]
本多浩[A17]
渡辺憲介[A17]
安達一浩[M18]
大嶺健太郎[M18]
小久保寿也[M18]
田那邊修市[M18]
中島裕起[M18]
野沢基史[M18]
山下松男[M18]
秋庭喜晴[E18]
鈴木敏文[E18]
古田真[E18]
飯田巳千男[A18]
石山勝広[A18]
上江田清実[A18]
島村学[A18]
中村輝治[A18]
市根井優憲[S10]
小泉穣[S10]
石井教之[M19]
下田祐司[M19]
田村富夫[M19]
松崎昭佳[M19]
白石嘉孝[E19]
土屋貢[E19]
高橋幹男[S11]
秋谷利一[M20]
浅野拓[M20]
輿石庄司[M20]
大柴通恭[M20]
福光裕[M20]
金子浩明[E20]
野村富成[E20]
高杉栄[A20]
牧野清樹[A20]
飯田邦人[M21]
蓮沼政樹[M21]
伊藤昌博[E21]
磯見浩之[A21]
手塚健一[A21]
平澤克太[A21]
斉藤稔[M22]
高橋吉隆[M22]
望月淳[M22]
渡部直樹[M22]
永山小太郎[E22]
荒井克敏[A22]
関磨子[A22]
田村隆尚[A22]
林耕誠[A22]
日野雅之[A22]
石垣信博[M23]
梅田茂明[M23]
大野政一[M23]
金子忠義[E23]
石野貴史[A23]
岩島健一[A23]
才木伸広[A23]
佐川正師[A23]
宮澤博文[A23]
久賀健一郎[S15]
久保田健男[S15]
田沼智之[E24]
窪田博年[A24]
佐々木賢二[A24]
高橋比呂志[A24]
西堀英治[A24]
新川誠[M25]
飯田真一郎[M25]
大嶋徹也[M25]
角野裕樹[M25]
鈴木学[M25]
吉田修二[M25]
大塚将史[E25]
徳永英哲[E25]
早川寿一[E25]
中道孝太郎[A25]
岡田武晴[M26]
前田優[M26]
紙屋泰宏[A26]
篠田政洋[S18]
篠原弘人[S18]
大野圭哉[M27]
平岡成友[M27]
西村智道[E27]
近藤正幸[S19]
池田和仁[M28]
堀田博子[M28]
五月女浩樹[E28]
野口憲治[A28]
宇條健[M29]
小野寺孝勝[M29]
長谷川憲一[M29]
七條健司[M29]
蛭田一豊[M29]
新井崇文[E29]
清水博幸[E29]
保高正幸[E29]
堀江秀俊[E29]
鈴木史朗[A29]
堀内照将[A29]
吉村恵[A29]
小川芙美江[S21]
毛塚裕紀[C1]
高橋健治[C1]
田島務[C1]
全敏榮[M30]
廣岡正巳[E30]
廣瀬達也[E30]
斉藤隼弘[C2]
殿谷聖弘[M31]
富田治[M31]
中村洋介[M31]
鈴木篤史[E31]
山田覚[E31]
江ヶ崎雅之[A31]
冨木田美代[A31]
小磯泰一[S23]
上原健太郎[C3]
冨木田裕士[[C3]
大渕雅之[M32]
塩入修[E32]
土井豊志[E32]
五十嵐徹[A32]
久保田雄一[A32]
平山康一郎[A32]
古澤雅仁[A32]
荒井正幸[S24]
大野学[S24]
玉那覇雄介[S24]
西木場逸弘[S24]
前澤成明[S24]
関根成紀[C4]
犬塚優[M33]
岩田直樹[M33]
鵜沢貴史[M33]
川口洋一[M33]
渡部通[M33]
齋藤孝之[E33]
山崎正明[A33]
中村政則[S25]
稲村直樹[C5]
海老原寛之[C5]
澤村幸希[C5]
鈴木隆文[C5]
田中宏幸[C5]
西谷和城[C5]
原田勇[C5]
深井克将[C5]
千葉智彦[A34]
田邉栄[C6]
松葉喜之[C6]
矢澤忍[C6]
白川直樹[A35]
大槻忠輔[S28]
渡部修一[M321]
松田信一[S227]
清川晋[E237]
後藤勇[M236]
本間賢志[E38]
根岸忠弘[E37]
三島誠[E37]
半藤康大[S31]
山口哲平[C12]
楠崇秀[M41]
木地本翔大[E42]
磯竜太[A43]

お願い 1

維持会費振込のお願い

本会は、在学時に納付頂いた会費と卒業生が納付する維持会費により運営されています。維持会費は卒業後10年を経過した会員の方から、年会費として3,000円を頂くことになっておりますので、維持会費の納付をお願い申し上げます。納付対象者は、平成15年度（2004年3月）までに卒業された方で、学科別の卒業期は以下の通りです。機械工学科［M］・電気工学科［E］・建築学科［A］は、第1期–34期、システム工学科［S］は、第1期–26期、情報工学科［C］は、第1期–6期となっています。同封の振込用紙もしくは、インターネットバンキングから納付することができます。

インターネットバンキングからの納付方法

●銀行名：ゆうちょ銀行｜●金融機関コード：9900｜●店番：019｜●預金種目：当座｜●店名：〇一九店（ゼロイチキュウ店）｜●口座番号：0400667｜●受取人名義：シヤ）ニッポンコウギョウダイガクコウユウカイ

会員番号を振込人名儀の後ろに付け加えてください。
会員番号は、同封の振込用紙に記入されています。

就学援助金納入者［平成25年度｜229名｜敬称略］

沖山仁[M1]
佐々木文昭[M1]
白瀬俊則[M1]
高花均[M1]
西田芳則[M1]
大島敏正[M2]
赤間松三[M2]
武田鋭彦[A2]
宮崎清五[A2]
一戸孝三[M3]
折原道雄[M3]
田中和子[A3]
今村俊夫[M4]
臼井昌章[M4]
斎藤和雄[M4]
佐々木茂幸[M4]
早坂進[M4]
福田弘[M4]
中出昭一[E4]
小松義昌[A4]
斉藤正弘[A4]
松岡司志[A4]
松原孝典[A4]
小田倉明裕[M5]
草薙裕明[M5]
小西法行[M5]
佐藤勝二[M5]
郷司剛奉[E5]
中村康則[E5]
横山行男[E5]
児玉博文[A5]
中津義智[A5]
萩原修[A5]
新井衛[M6]
伊藤弘志[M6]
栗和田洋敏[M6]
佐藤俊幸[M6]
杉本英明[M6]
森川忠[M6]
清水繁樹[E6]
早川時光[E6]
平沼栄[E6]
長内秀明[A6]
清水敦俊[A6]
鷹羽金司[A6]
東海林勲[A6]
山本豊[A6]
篠崎清栄[E7]
河原譲[E7]
島田賢一[E7]
土井嘉豊[E7]
遠山隆太郎[E7]
井上俊二[A7]
岩崎猛[A7]
大野雅己[A7]
長島佳久[A7]
藤井正王[A7]
藤崎常男[A7]
上野幸蔵[M8]
阿部哲哉[M8]
薄井敏光[M8]
加藤秀次[M8]
竹内貞雄[M8]
竹田修二[M8]
秋谷充彦[M8]
宮前俊彦[E8]
入野昌明[A8]
黒津高行[A8]
品川典久[A8]
辻四朗[A8]
筑野正明[A8]
藤田光彦[A8]
藤田公雄[M9]
清水荘雄[M9]
高草木英夫[M9]
西坂秀作[M9]
丸山昭仁[M9]
夏見忠[E9]
吉本憲弘[E9]
芝木正太郎[S1]
原弘明[M10]
古野秀喜[M10]
廣井勝[E10]
加賀政雄[A10]
比護孝[A10]
吉岡誠[A10]
臼倉弘[S2]
鈴木一夫[E11]
星野一徳[E11]
安田正人[E11]
吉田清[E11]
小野寺真[A11]
本田伸也[A11]
松村敏多[A11]
伊藤道郎[M12]
万殿善美[M12]
緑川勇[M12]
山本柳市[E12]
亀山和由[A12]
田中和敏[A12]
徳永雄一郎[A12]
平野浩正[A12]
尾関博司[S4]
小林裕行[M13]
村井和之[M13]
浅田和弘[E13]
阿部等[E13]
堀田主税[S5]
池内忠[M14]
小山将史[A14]
下村紀之[A14]
中野澄雄[A14]
横山賢二[A14]
小松保彦[S6]
生野武夫[M15]
佐藤紘三[M15]
山口弘一[M15]
秋山一弘[E15]
植木豊[E15]
柳澤章夫[E15]
大越啓全[A15]
菅沢守[A15]
千葉朋穂[A15]
大谷政行[M16]
小ノ澤辰範[M16]
飯塚智久[E16]
武木久人[E16]
真舩正広[M16]
水野徹也[E16]
濱川一彦[S8]
小川武[M17]
倉家寿継[M17]
小出真一[M17]
大嶺健太郎[M18]
田那邊修市[M18]
中島裕起[M18]
秋庭喜晴[E18]
石山勝広[A18]
中村輝治[A18]
小泉穣[S10]
石井教之[M19]
井出真佐雄[M19]
松崎明佳[M19]
土屋貢[E19]
高橋幹男[S11]
井口博文[M20]
大城賢一[M20]
岡本晃[A20]
高杉栄[A20]
袴田結喜[A20]
牧野清樹[A20]
蓮沼政樹[M21]
磯見浩之[A21]
平澤克太[A21]
斉藤稔[M22]
渡部直樹[M22]
永山小太郎[E22]
石垣信博[M23]
石野貴史[A23]
岩島健一[A23]
才木伸広[A23]
久賀健一郎[S15]
佐々木賢二[A24]
大嶋徹也[M25]
角野裕樹[M25]
鈴木学[M25]
中道孝太郎[A25]
岡田武晴[M26]
篠田政洋[S18]
篠原弘人[[S18]
大野圭哉[M27]
平岡成友[M27]
西村智道[E27]
堀田博子[M28]
野口憲治[A28]
小野寺孝勝[M29]
長谷川憲一[M29]
清水博幸[E29]
保高正幸[E29]
堀江秀俊[E29]
鈴木史朗[A29]
吉村恵[A29]
斉藤喬士[S21]
毛塚裕紀[C1]
全敏榮[M30]
二瓶隆之[A30]
富田治[M31]
冨木田美代[A31]
小磯泰一[S23]
冨木田裕士[C3]
大渕雅之[M32]
塩入修[E32]
久保田雄一[A32]
平山康一郎[A32]
古澤雅仁[A32]
川口洋一[M33]
斎藤孝之[E33]
山崎正明[A33]
稲村直樹[C5]
海老原寛之[C5]
鈴木隆文[C5]
田中宏幸[C5]
原田勇[C5]
深井克将[C5]
矢澤忍[C6]
徳丸貴史[A35]
武井孝修[M36]
大槻忠輔[S28]
青木和央[M37]
三島誠[E37]
深山亮介[S29]
荻野慶太郎[M38]
本間賢志[E38]
山本拓司[E38]
菊田貴之[C10]
上原健吾[S31]
半藤康大[S31]
山口哲平[C12]
長瀬龍平[M41]
柴田撤[E41]
道上拓哉[A41]
出井宏貴[M42]
松本春樹[C14]
嶋澤成司[E43]
大西郷[A43]
木村健都[C15]
後藤勇[M236]
渡部修一[M321]

工友会寄付金納入者
［平成25年度｜7名｜敬称略］

田中和敏[A12]
池内忠[M14]
柳澤章夫[E15]
真舩正広[M16]
堀江秀俊[E29]
川口洋一[M33]
田中宏幸[C5]

お願い 2

就学援助金への寄付のお願い

就学意欲があるにも関わらず、経済的事情から卒業を目前にしながらも退学を余儀なくされる学生が少なからず存在します。本会では、学生への経済的支援活動として、工友会奨学金（20万円／年×10名）や、学生生活援助金（総額50万円／年）などの支援事業を実施しています。本事業を継続的かつ安定して実施するため、就学援助積立預金（特定資産）を設置しております。本事業にご賛同頂ける方は、同封の振込用紙をご利用の上、ご寄付をお願い申し上げます。なお、一口1,000円から何口でもご寄付頂けます。

退職された方々

この度大学を退職された教職員の方々です。（平成25年3月31日）
皆様の長年のご苦労に感謝いたします。

- 梅崎栄作［教授］ 機械工学科／定年
- 小野雄策［教授］ ものづくり環境学科／定年
- 鈴木敏正［教授］ 創造システム工学科／定年
- 坂本康治［教授］ 情報工学科／定年
- 渡辺勝彦［教授］ 生活環境デザイン学科
- 原田昭［教授］ 工業教育研究所／定年
- 森正美［准教授］ 電気電子工学科／定年
- 武藤剛［准教授］ 情報工学科
- 當山孝義［講師］ 電気電子工学科
- Julian Chesworth［講師］ 英語教育センター
- 酒井康夫［参与］ 財務部／定年
- 川村真司［主任］ 教育研究推進室
- 大森純子［事務職員］ 教務課／定年
- 吉川寿子［事務職員］ 就職支援課／定年

訃報［会員ならびに教職員の方々］

謹んで哀悼の意を表すとともに、ご冥福をお祈りいたします。

- 成田剛［建築学科准教授］ 平成26年2月8日逝去
- 鈴木務［電気電子工学科元教授・名誉教授］ 平成25年11月25日逝去
- 土屋秀雄［システム工学科元教授］ 平成25年7月25日逝去
- 森山幹郎［元共通系講師］ 平成25年12月24日逝去
- 川井睦子［建築学科元助手］ 平成25年9月21日逝去
- 星野幸輝［電子電気工学科2年生］ 平成26年5月6日逝去
- 塩﨑蒼一郎［電子電気工学科3年生］ 平成26年5月23日逝去
- 杉本仁[E25] 逝去 ＊詳細時期不明
- 鈴木昇[M20] 平成25年1月31日逝去
- 柳瀬努[A5] 逝去 ＊詳細時期不明
- 森茂博[E3] 平成25年5月1日逝去
- 安藤進[M8] 平成23年12月19日逝去
- 三浦秀樹[E12] 平成25年4月26日逝去
- 彦坂正人[A9] 逝去 ＊詳細時期不明
- 関根敏之[S18] 平成25年2月逝去
- 清水敦俊[A6] 平成25年4月16日逝去
- 栗原昭佳[E16] 平成25年8月12日逝去
- 角田義和[E3] 平成25年4月6日逝去
- 小田明[M5] 平成24年11月29日逝去
- 清川晋[E237] 平成24年7月20日逝去
- 北條和明[E20] 平成25年2月8日逝去
- 中山正興[M19] 平成24年3月30日逝去
- 南谷満男[A7] 平成25年4月逝去
- 鈴木耕太[A31] 平成17年逝去
- 五十嵐徹[A32] 平成25年7月8日逝去
- 近藤文雄[A6] 平成24年12月5日逝去
- 川又智[M26] 平成18年2月16日逝去
- 新井康二[A2] 逝去 ＊詳細時期不明
- 小川兼司[M33] 逝去 ＊詳細時期不明
- 大野誠[M6] 平成23年9月7日逝去
- 橋本信一[A6] 平成25年11月逝去
- 新谷省吾[M1] 平成24年12月19日逝去
- 小久保隆[M3] 平成24年8月逝去
- 斉藤明[M2] 平成25年7月16日逝去
- 浜信博[M1] 平成16年逝去
- 安藤孝則[C14] 逝去 ＊詳細時期不明
- 白瀬俊則[M1] 平成26年7月19日逝去